

# 新年挨拶

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。年頭にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

昨年は道路建設業にとって『アンバランスな一年』でありました。それは、復興の東北地方とオリンピックに向けて急ピッチでインフラ整備に邁進する首都周辺の活況、それに比してその他の地域のインフラ投資、中でも舗装予算の低迷であります。

我が中部地方も、東海環状自動車道、新東名の整備など、華やかな話題もありますが、全体量としては不況と言わざるを得ない一年でした。公共事業費の低迷もさることながら、国民の耳目がトンネル、橋、防災の方へ向いており、殊に舗装のメンテナンスの位置付けが下がった事も原因の一つとなりました。そのような状況により中部地域から技術者や資機材の流出が見られ、将来への不安を感じるどころでもあります。

さて、新年は申年です。前述した事態から、サル「去る」と促え、上昇、躍進の年にしたいものです。中部支部としても、安全活動の更なる推進や労働環境の向上に向けた取り組みなどを中心に活動します。これらは、学生、生徒、そして女性の入職に欠かせない事柄であり、社会基盤の整備と防災活動を通じて、社会に貢献したいと願う我々共通の大切な活動であります。

また、本年は選挙の年でもあります。従来から我々道路建設業協会は、投票への抱束が他産業と比べると緩いと云われて来ましたが、今回こそは明確な意思を表す機会であると認識し、活動する計画です。

会員各位ならびに関係の皆様方には、当協会の活動に本年も格別のご理解とご協力をお願い申し上げ挨拶と致します。



支部長

青野 俊弘

東亜道路工業株式会社 中部支社 常務執行役員支社長



明けましておめでとうございます。

会員各社の皆様には良い年を迎えられたことと存じ上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は恒例行事等に多少の遠慮や、窮屈さを感じながらの一年であったように思います。今年はこれ以上、控え目な年にならないようにしたいものです。

さて道路業界の大きな課題としてここ数年、担い手である若者の入職、定着が低いと叫ばれています。何故若い人が忌み嫌うのかというと仕事が危険で綺麗な職場環境ではない、休日が少ない、きつい仕事の割に給料が安い等だそうですが一歩踏み込んでやれば改善できることは多少なりともあるんじゃないか…と大いに思っています。皆さんもそうお考えでしょう。でも一人や二人じゃ無理ですから会員各社一丸となって将来夢のある業界に近づけるように力を合わせていきましょう。それにはやはり仕事が途切れず継続発注される事が大前提にならないと後ずさりのスパイラルに巻き込まれてしまいます。それも含めて青野支部長、事務局、会員各社のお力を借りながら少しでも前進できたらいいなあと思っています。

話は変わりますが三重地区では今年5月に伊勢志摩サミットが開催されます。かなり厳重体制のなか忙しくなるのではないのでしょうか。

私も近々、恒例のお伊勢さんに初詣に行くつもりです。サミット後、仕事が減らないようにと祈ると道建協中部支部と会員各社の益々の御隆盛そして各社社員様のご多幸ご健勝をしっかりと祈念して参ります。

では本年が皆様にとりまして良い年となりますように!!

幹事長

斉藤 克巳

大林道路株式会社 中部支店 取締役常務執行役員 支店長

